

黒羽芭蕉の館だより 24

企画展「近世黒羽の林政家

興野隆雄と興野家文書の世界」

当館では、林政家として偉大な足跡を残した興野隆雄（1790～1862）の没後150年にちなみ、平成24（2012）年度企画展を次のとおり開催します。

展示資料のほとんどは初公開となります。ぜひこの機会に企画展をご覧になり、地域全体の幸せを目指した興野隆雄の志と実践や、隆雄の偉業を顕彰した後世の人たちの心に触れていただければ幸いです。

●テーマ

「近世黒羽の林政家興野隆雄と興野家文書の世界」

●期日

2月16日（土）～3月17日（日）

●内容

- 黒羽藩の重臣興野氏の系譜
- ①系譜②屋敷③藩士としての働き
- ④武術の心得⑤蔵書
- 興野隆雄と植林事業
- ①藩士としての働き②兵学の心得
- ③先祖への関心④植林事業と『太山の左知』⑤小泉斐との交友

○興野隆雄の子孫と『太山の左知』の顕彰

- ① 忠右衛門隆種と武術
- ② 鉄太郎隆政父子と『太山の左知』の顕彰
- ③ 写真でみる興野家の人々

●展示資料

興野隆雄肖像画、『太山の左知』や幕末維新期の写真など興野家伝来資料（計113点）

●関連事業

【ギャラリートーク】

日時 2月16日（土）

午後1時30分～2時30分

場所 当館展示室

担当 当館学芸員

観覧料

大人300円、小中学生100円

※事前の申し込み不要

●展示替えに伴う臨時休館日

2月14日（木）・15日（金）



興野隆雄肖像画

■問い合わせ

黒羽芭蕉の館

TEL (54) 4151

彫刻

市内で作られた作品とその作者

周遊 50

このコーナーは、「那須野が原国際彫刻シンポジウム」で公開制作、設置された作品とその作者を連載で紹介します。

この作品はピアートホールに設置してあります。



寒さから身を守るために大きなスカーフを顔に巻き、手にはマニ車というチベット仏教特有の仏具をもった少女の像です。髪は腰のあたりまで伸ばしたものを編み込み、やや浅黒い肌に、真っ黒でたっぷりとした簡素な服を着ています。

作者は2007年から2008年にかけてチベット大学芸術学院で副院長を務めていました。

Girl Walking on the Canon Stairs Road (回廊を歩く少女)

フオ シュウギ 中国 2012年

その際に交流した少女に対する想いを表現しようとしたようです。

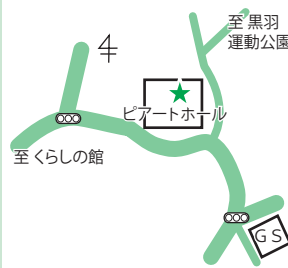
「ぼんやりとした暗黙の瞳の中に、信仰の強さを、生命の力を、そして心の強さを見ることができる。」作者はチベットで出会った少女についてこのように述べています。そして最後に鑑賞者にこう問いかけます。「今この世の中で、人々が本当に必要としているものとはいったい何なのだろうか。」



フオ シュウギ氏

作者は中国生まれのフオ シュウギ氏。東北師範大学美術学院教授、中国美術協会会員、中国彫刻協会会員。2011年に中国の高速道路大型公共芸術シリーズモニュメントを完成させました。

設置場所案内図(★印)



■問い合わせ

文化振興課文化振興係 TEL (23) 8718